

実践の記録

実施期日	11月18日 (金)
実施者氏名	船山栄子
実施学部・教科	学部(学年) : 幼 小 ⊕ 高普 高専 (1～3年) 教科 : 保健体育
単元名	マット運動「連続技をつくろう」
単元の目標	(1) 周囲の安全に確かめ、仲間と教え合い補助し合って学習や運動に取り組む。 (2) 自分の課題を明確にもち、その解決や技の習得に向けて練習方法を選択したり工夫したりできる。 (3) 基本的な技や発展技をつないで、連続技で演技することができる。 (4) 技のポイントを知り、学習の進め方や成果を理解することができる。
タブレット型PC活用の目的	・連続技の練習時や学習最後の発表会での演技を見て、自分の課題と成果を明確につかませるため。
タブレット型PC活用方法(具体的に)	・(練習時) TTによる授業であるため、1人の指導者が専門に録画しながら巡回し、(時間切れだったので)授業後、自由に観る場を設定した。 ・(発表時)撮影位置を固定して1人1人の発表を録画し、学習のまとめで鑑賞した。その後、感想や反省を学習カードに記入するようにした。
幼児・児童・生徒の反応	・課題解決型学習であり、互いに教え合いながら工夫して練習しようとしているが、言葉による指摘よりも実際の自分の演技を観ることで課題がより明確になり、練習に対する取り組みが積極的になった。 ・学習カードへの感想にも、技能に関する課題を具体的に書いている生徒が目立った。

※活用の様子の画像などもあれば幸いです。よろしくお願いいたします。